

伊勢崎市議会議員 新藤 靖 様

伊勢崎市議会 公明党
代表 内田 彰

令和 4 年度政務活動費支出状況報告書（第3四半期）

伊勢崎市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定により、次のとおり令和 4 年度第3四半期（10月から12月まで）の政務活動費支出状況を報告します。

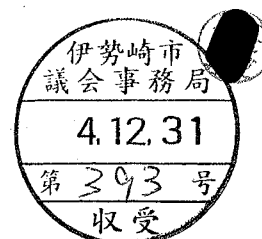
1 支出状況

（単位：円）

科 目	今期支出額	左のうち、 今期概算払受領済額	備考
調 査 研 究 費			
研 修 ・ 会 議 費	275,360	275,360	第1回概算払分
資 料 作 成 費			
資 料 購 入 費			
広 報 広 聴 費			
要 請 ・ 陳 情 活 動 費			
人 件 費			
事 務 所 費	2,365		
合 計	277,725	275,360	

2 交付限度額 1,155,000 円
3 既 交 付 額 861,730 円
4 今 期 請 求 額 2,365 円
5 未 交 付 額 290,905 円
6 添 付 書 類

- (1) 領収書
(2) 視察等報告書
(3) 会計帳簿の写し
(4) その他政務活動費の支出に係る証拠書類



令和4年度 政務活動費会計帳簿

交付限度額	1,155,000
既交付額	861,730
支出額計	385,595

会派名 : 公明党

整理番号	日付	科目	内 容	収 入	支 出	差 引
1	5/26	資料購入費	年間購読料(議員NAVI・自治体情報誌D-file・日本教育新聞:4月分除く)及び振込手数料		103,670	-103,670
2	7/14		第一四半期分入金	103,670		0
3	8/30	資料購入費	全国農業新聞購読料(令和4年10月分～令和5年3月分)		4,200	-4,200
4	9/8		第1回概算払分入金(第84回全国都市問題会議参加)	275,770		271,570
5	10/3	事務所費	コピー用紙代		2,365	269,205
6	10/14	研修・会議費	第84回全国都市問題会議参加(10/12～10/14、長崎市)		275,360	-6,155
7	10/20		第二四半期分入金	4,200		-1,955
8	10/27		第1回概算払いによる戻入	-410		-2,365
9	12/22		第2回概算払分入金(公明党通信印刷代及び折込料)	478,500		476,135
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

令和 4 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

5

会 派 名	公明党	議員氏名	田部井美晴
支出年月日	令和4年10月3日 (第3四半期)	支 出 額	2,365 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % =		円
使 途 区 分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 ⑧ 事務所費		
備 考	コピ-用紙代		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

2022年10月03日
一連No. 026988
領収No. 000001

領 収 証

伊勢崎市議会公明党様

¥2,365-

対象計
内税

10.0%

¥2,365-
¥215-

(但し として、正に領収致しました)

印刷面を内側に折って保管願います



株式会社 広 井

伊勢崎市今泉町2-401
TEL 0270-25-1415

令和 4 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

6

会 派 名	公明党	議員氏名	経理責任者 田部井 美晴
支出年月日	令和4年10月14日 (第3四半期)	支 出 額	275,360 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使 途 区 分	1. 調査研究費 ②. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人 件 費 8. 事務所費		
備 考	第84回全国都市問題会議参加 (10/12~10/14、長崎市) *午前中から研修会のため前泊		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

研修参加費

No.1185

会議参加費 領収書

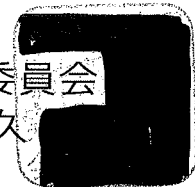
伊勢崎市議会公明党 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和4年 10 月 12 日

第84回全国都市問題会議実行委員会
会 長 田 上 富 久



政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号

6

No.1313

会議参加費 領収書

伊勢崎市議会 公明党 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和4年 10 月 12 日

第84回全国都市問題会議実行委員会
会 長 田 上 富 久



No.1315

会議参加費 領収書

伊勢崎市議会 公明党 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和4年 10 月 12 日

第84回全国都市問題会議実行委員会
会 長 田 上 富 久



請求書発行日: 2022年08月29日

1 / 2

JTB長崎支店
住所 〒850-0035
長崎県長崎市元船町14-10 橋本商会ビル
別館6階
支店長: 平尾 武敏
担当者: 牟田口

請求書番号: 222398795000045002

請求書

内田 彰 様

再発行

下記のとおり請求申し上げます。

請求額合計 30,000円 (税込)

イベント名 第84回全国都市問題会議

イベント会期 2022年10月13日 ~ 2022年10月14日

請求額合計	(税込)	消費税
	30,000円	2,727円 -
(8%対象)	0円	0円 -
(10%対象)	30,000円	2,727円 -
(8%対象)	0円	0円 ※1
(対象外)	0円	0円 ※2

入金額 0円

請求残額 30,000円

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

請求書備考

お支払期限 2022年09月16日

口座情報

銀行名

支店名

口座種別

口座番号

口座名義 株式会社JTB

明細は次頁以降をご参照ください。

請求明細

再発行

請求書発行日: 2022年08月29日

2 / 2

請求額合計

30,000円

(税込)

【内訳】

イベント名 イベント会期		第84回全国都市問題会議 2022年10月13日 ~ 2022年10月14日			
申込日	ご利用日・内容	本体単価 (税込)	数量	本体合計 (税込)	消費税
2022年08月01日	参加費 内田 彰 様(申込者)	10,000円	1	10,000円	10%
2022年08月01日	参加費 手島 良市 様(内田 彰 様:同時登録者)	10,000円	1	10,000円	10%
2022年08月01日	参加費 田部井 美晴 様(内田 彰 様:同時登録者)	10,000円	1	10,000円	10%
① 請求額合計				30,000円	2,727円
(8%対象)				0円	0円
(10%対象)				30,000円	2,727円
(8%対象 ※1)				0円	0円
(対象外 ※2)				0円	0円
② 入金額				0円	0円
③ 請求残額				30,000円	2,727円

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

政務活動費領収書等貼付用紙 (続紙)

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。) 整理番号 6

参加費振込手数料

振込金受取書 (兼振込手数料受取書)

振込受付書

※ 振込金区分が「現金・有価証券」のときは「振込金受取書 (兼振込手数料受取書)」として、「上記以外」のときは「振込受付書 (兼振込手数料受取書)」として使用しています。

ご依頼日 4 年 9 月 14 日

お振込先	銀行名漢字	▼左つめでご記入ください。										○をおつけください。	支店名漢字	▼左つめでご記入ください。									
	カタカナ	みずほ銀行										☒ 振込 ☐ 振替 ☐ 口座振替	十 二 号 支 店										
お受取人	姓と名の間は1マスあけて左つめでご記入ください。	カブシキカイシヤシ"エイ										預金種目	▼左つめでハイフン(ー)を入れないで記入ください。										
	濁点(・)・半濁点(・)も1マスを使用してください。	タイーロ"ー										金額	千 百 十 万 千 百 十 円 3 0 0 0 0										
ご依頼人	(おなまえ)	株式会社 JTB										後収手数料 (一括契約)	他店券 1 1 0 0 円										
	姓と名の間は1マスあけて左つめでご記入ください。	イロサキシヤ"カイゴウX										※手数料には消費税を含みます。	領収済手数料 1 1 0 0 円										
おとこ	濁点(・)・半濁点(・)も1マスを使用してください。	イトウ										振込指定日 年 月 日	午後2時以降のご依頼分は、翌営業日のお取扱いとなる場合がありますので、ご了承ください。										
	(おとこ)	伊勢崎市議会 公明党										振込金区分 (該当する方に○印表示)	☒ 現金・有価証券 (当座小切手等) ☐ 上記以外 (預金払戻請求書・口座振替等)										
日中ご連絡先 TEL (070) 24-5111																							

- 先方銀行へは、受取人名のほか預金種目・口座番号を通知します。受取人名等はカナ文字により送信します。
- 振込依頼書に記載相違等の不備があった場合には、照会等のため振込が遅延したり、振込ができないことがあります。
- 通信機器・回線の故障または郵便物の遅延などやむを得ない事由によって、振込が遅延することがありますのであらかじめご了承ください。
- ご指定口座から預金を払戻して振込む場合、その払戻しができないときは振込ができませんのでご注意ください。
- この振込金受取書または振込受付書は、振込ができない場合などに必要となりますので、ご依頼人が大切に保管してください。
- 当行本支店への振込金のうち上記他店券欄に記入の小切手が不渡りのときはその分をお取消しのうえ、小切手等は権利保全の手続きをしないで、当店において返却します。
- 本振込は、振込規定によりお取扱いさせていただきます。

(5642594) 2/2



株式会社 群馬銀行

政務活動費領収書等貼付用紙 (続紙)

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。) 整理番号

6

宿泊代(2泊3日、3名分)

● ● ● 領 収 証 ● ● ●

C 011485

伊勢崎市議会公明党 様

2022 年 10 月 12 日

¥64,200.-

但し 御宿泊代として

上記の金額正に領収いたしました



内 訳

1. 現金
2. クレジット
3. クーポン券
4. その他()

※本証に取扱者印なきもの並びに金額を訂正したものは無効です。

アパホテル株式会社

〒850-0057 長崎県長崎市

アパホテル(長崎駅前)

TEL 095-823-1111

FAX 095-823-3735

担当者印



政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号

6

JR鉄道運賃代（往復3名）

領 収 証

伊勢崎市議会公明党様

2022年 9月18日

金177,960円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 波 谷
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
伊勢崎801 No.000012



駐車場代

領収書

伊勢崎市議会公明党

入庫時刻 10月12日 07時31分

精算時刻 10月14日 20時44分

受領金額 2100円

2022年10月14日20時44分 発行

この領収書を5000円以上
集めると、花園フォレスト
にて粗品を進呈致します。

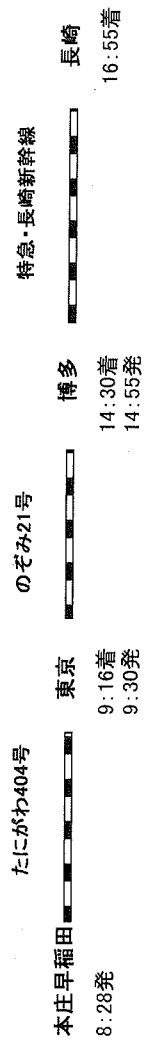
本庄早稲田駅前パーキング

全国市議会議長会研究フォーラム 日程表

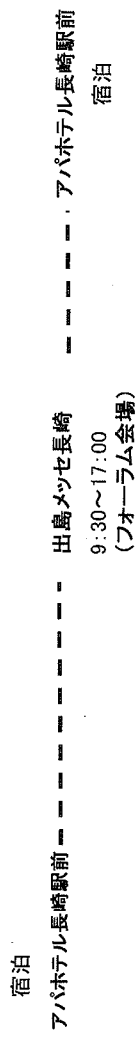
連絡先：伊勢崎市議会事務局

0270-24-9687

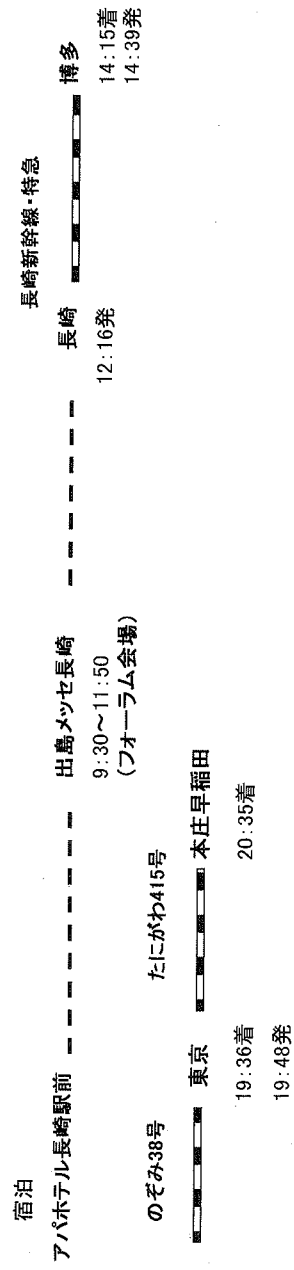
10月12日(水)



10月13日(木)



10月14日(金)



第84回全国都市問題会議 開催のご案内

期 日：令和4年10月13日（木）・14日（金）

テーマ：個性を活かして『選ばれる』まちづくり
～何度も訪れたい場所になるために～

会 場：出島メッセ長崎

申込期間：令和4年8月1日（月）～22日（月）

（ 主 催 ）

全 国 市 長 会

公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所

公益財団法人 日本都市センター

長 崎 市

（ 協 賛 ）

公益財団法人 全国市長会館

ご 案 内

第84回全国都市問題会議を令和4年10月13日（木）・14日（金）の両日、「個性を活かして『選ばれる』まちづくり～何度も訪れたい場所になるために～」をテーマに、長崎市で開催いたします。

現在、人口減少や少子高齢化に加え、ポストコロナ社会への対応など、社会全体が時代の変革期を迎えています。特に、新型コロナウイルス感染症の流行をきっかけに、人々の生活や行動、価値観が改めて見直されております。

「幸せに生きるために大事なことは何か」という本質的な価値が求められ始めており、これまでの人口の多さや経済力の高さといった数字で比較できる価値もさることながら、暮らしやすさや歴史・文化の深さなど、その都市ならではの価値に注目が集まりつつあります。

このような時代だからこそ、自分たちのまちを見つめ直し、都市の個性を磨くことが必要だと考えております。

長崎市では、本年9月23日に西九州新幹線が開業するなど、100年に1度とも言える大きな進化の時期を迎えております。

今回の会議では、まちの変化に合わせた、長崎市のまちづくりの取組みを報告するとともに、各都市の市長及び学識経験者の皆様の経験や研究成果に基づいた講演と報告、そしてパネルディスカッションを通じて、都市の個性を活かして「選ばれる」まちづくりについて、考察してまいりたいと考えております。

この会議が、各都市が抱える共通した課題の解決への糸口になるよう、行政に携わる皆様方の、多数のご参加を心からお待ちしております。

開 催 要 領

1. 主催者

【主催】 全国市長会、(公財)後藤・安田記念東京都市研究所、(公財)日本都市センター、
長崎市

【協賛】 (公財)全国市長会館

2. 開催日時・会議の内容(日程 4ページ、講師略歴 5ページ)

【第1日】 令和4年 10 月 13 日(木) 9:30 開会 (受付開始 8:30)
基調講演、主報告、一般報告

【第2日】 令和4年 10 月 14 日(金) 9:30 開会 (開場 8:30)
パネルディスカッション、行政視察(希望者のみ・有料)

3. 開催場所(会場アクセス 7ページ)

出島メッセ長崎

〒850-0058 長崎県長崎市尾上町4-1(JR 長崎駅西口前) TEL:095-801-0530

4. 議題(議題解説 8ページ)

個性を活かして「選ばれる」まちづくり～何度も訪れたい場所になるために～

5. 会議参加費

1名につき 10,000 円

※ 1日目は昼食弁当をご用意しております。

※ 会議参加費は、事務局に代わり株式会社JTB長崎支店が代行収受いたします。

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により、会議の開催を中止又は開催内容を変更する場合があります。その場合は、会議参加費を返金できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

※ 前日までにご連絡がないまま当日不参加になった場合は、会議参加費は返金できません。

※ 会議参加費の領収証は、会議当日にお一人様1枚ずつご用意しております。

※ 会議参加費以外の領収証については、大会終了後Webシステムにて発行可能です。

6. 会議の参加・宿泊のお申込み(参加申込方法 14 ページ、宿泊のご案内 20 ページ)

申込みは、下記の期間にWeb申込み又はメール申込みにより受付します(先着順)。14 ページの参加申込方法をご確認ください。

【申込開始日】 令和4年 8月 1日(月) 10:00 から

【申込締切日】 令和4年 8月 22日(月) 17:00 必着

7. 行政視察 (行政視察のご案内 25 ページ)

10 月 14 日 (金) 会議終了後に会議運営委託会社が主催し、募集する「行政視察」を実施します。こちらは任意の参加で、別料金となります。

A～F の 6 コースを設定しておりますので、25 ページの「行政視察のご案内」をご参照ください。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響等により、催行を中止又は内容を変更する場合があります。

※ 参加申込が多数の場合、多くの都市(団体)の方にご参加していただくため、一団体あたりの参加人数の調整をさせていただく場合があります。

※ 最少催行人員に満たない場合は不催行となりますので、ご了承ください。

8. 問い合わせ先

(1) 参加申込・宿泊・行政視察について

株式会社 JTB ビジネストラנסフォーム

九州ビジネスサポートチーム 九州中国四国 MICE センター

〒810-0072 福岡市中央区長浜 1-1-35 新 KBC ビル 5F

Email: toshimondai@jbn.jtb.jp

TEL: 092-751-2102

(営業時間: 月～金曜日 10:00～17:00 土・日・祝祭日は休業)

(2) その他会議に関することについて

第 84 回全国都市問題会議実行委員会事務局

〒850-8685 長崎県長崎市桜町 2-22

長崎市企画財政部都市経営室

TEL: 095-829-1111(直通)

日 程

第1日 10月13日(木)

9:30	開 会 式		
9:50	基 調 講 演	株式会社ジャパネットホールディングス 代表取締役社長兼CEO	高 田 旭 人 氏
11:00	主 報 告	長崎県長崎市長	田 上 富 久 氏
12:10	(昼 食)		
13:30	一 般 報 告	島根県立大学地域政策学部准教授	田 中 輝 美 氏
	(休 憩)		
14:50	一 般 報 告	山形県山形市長	佐 藤 孝 弘 氏
15:50	一 般 報 告	(一社)地域力創造デザインセンター代表理事	高 尾 忠 志 氏
17:00	(終 了)		

第2日 10月14日(金)

9:30	パネルディスカッション		
	[コーディネーター]		
	東京都立大学法学部教授	大 杉 覚 氏	
	[パネリスト]		
	ゆとり研究所所長	野 口 智 子 氏	
	山梨大学生命環境学部教授	田 中 敦 氏	
	NPO法人長崎コンプラドール理事長	桐 野 耕 一 氏	
	岐阜県飛騨市長	都 竹 淳 也 氏	
	兵庫県伊丹市長	藤 原 保 幸 氏	
11:50	閉 会 式		
閉会後	行 政 視 察	【希望者のみ(有料)】	

講師略歴

基調講演



たか た あき と
高田 旭人

株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役社長 兼 CEO

1979年長崎県生まれ。東京大学卒業後、証券会社を経て、ジャパネットたかたへ入社。バイヤー部門、コールセンター部門、物流部門の責任者を経て、2010年にジャパネットコミュニケーションズ代表取締役社長となる。ジャパネットたかた取締役副社長を経て、2015年1月、ジャパネットホールディングス代表取締役社長に就任。2019年には通信販売事業に加え、スポーツ・地域創生事業をもう一つの柱とし、更なる取り組みを進めるリージョナルクリエーション長崎を同年6月に設立。2020年にはBS放送局の開局を見据えてジャパネットブロードキャスティングを設立し、現在に至る。

主報告



た う え と み ひ さ
田上 富久

長崎県長崎市長

1956年長崎県五島市生まれ。九州大学法学部卒業。1980年長崎市役所へ入所。2007年4月に第32代長崎市長に就任。現在第35代長崎市長として4期目を務める。観光客の増加、企業誘致、平和発信、行財政改革などに成果を挙げる一方、福祉、医療、教育、防災、環境など安全安心な暮らしづくり、まちなかの整備や道路・公園整備などのまちづくりの面でも一步一步着実に前進している。

一般報告



た な が て る み
田中 輝美

島根県立大学地域政策学部准教授

島根県浜田市生まれ・在住。大阪大学文学部卒。山陰中央新報社記者として琉球新報社との合同企画「環りの海」で2013年新聞協会賞受賞。2014年、同社を退社し、フリーの「ローカルジャーナリスト」に。大阪大学大学院人間科学研究科で博士（人間科学）を取得し、2021年、島根県立大学地域政策学部に着任。著書に『関係人口の社会学』（大阪大学出版会）、共著に『みんなでつくる中国山地』（中国山地編集舎）など。



さ と う た か ひ ろ
佐藤 孝弘

山形県山形市長

1975年生まれ。東京大学法学部卒業後、経済産業省に入省。中小企業庁にて税制改正などを担当。退官後、自営業を経て政策シンクタンク東京財団研究員として経済政策を提言。2011年9月、山形市長選挙に立候補し、次点。2015年9月、第18代山形市長に就任。現在2期目。全国市長会東北支部長、東北市長会会長、山形県市長会会長、中核市市長会副会長を務める。著書に「M & A 国富論」など。



た か お た だ し
高尾 忠志

一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事

1977年生まれ。博士（工学）。技術士（建設部門）。東京大学大学院修了。九州大学特任准教授。2013年度より長崎市景観専門監に就任し、長崎駅周辺、新庁舎、出島表門橋・公園、まちなか夜間景観、恐竜博物館、稲佐山スロープカー、鍋冠山展望台、長崎居留地歴史まちづくり等、多くの事業を監修しながら職員の人材育成に努める。2020年4月に一般社団法人地域力創造デザインセンターを設立して代表理事に就任。総務省地域力創造アドバイザー。

パネルディスカッション

コーディネーター



おおすぎ さとる
大杉 寛

東京都立大学法学部教授

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了（博士（学術））。成城大学法学部専任講師、東京都立大学法学部助教授を経て、2005年から現職。その間、ジョージタウン大学客員研究員、政策研究大学院大学客員教授を歴任。総務省地域づくり人材の養成に関する研究会座長。総務省人材育成等専門家派遣事業アドバイザー。（一財）地域活性化センター地域リーダー養成塾主任講師。世田谷区参与せたがや自治政策研究所所長。その他、国・自治体各種審議会等委員を歴任。専門分野は、行政学、地方自治論。主な著書：『自治体組織と人事制度の改革』（編著・東京法令出版）2000年、『人口減少時代の地域づくり読本』（共著・公職研）2015年、『コミュニティ自治の未来図』（単著・ぎょうせい）2021年、『これからの地方自治の教科書 改訂版』（共著・第一法規）2021年。その他多数。

パネリスト



のぐち ともこ
野口 智子

ゆとり研究所所長

千葉県千葉市生まれ。1992年ゆとり研究所を開き地域づくりコンサルタントとして動き出す。静岡市で行った「一店逸品運動」は商店街活性化手法として全国に広がる。2003年ジャーナリスト筑紫哲也らとNPOスローライフ・ジャパンを、2006年スローライフ学会を設立。現在、東京在住。市民主体のまちおこし・交流・ツーリズムを展開。最近では奈良県十津川村「ゆっくり散歩道」、和歌山県紀の川市「フルーツ・ツーリズム」、長崎県雲仙市「雲仙人プロジェクト」などを手がける。総務省/地域力創造アドバイザー、ふるさと財団/地域再生マネージャー。

パネリスト



たなか あつし
田中 敦

山梨大学生命環境学部教授

横浜国立大学卒業後、JTBに入社し、教育旅行・在外拠点（ニューヨーク・ロンドン）・MICEなどの業務を経験。2000年に本人出資型社内ベンチャーとしてJTBベネフィットを起業し取締役役に就任。その後、本社、JTB総合研究所などで事業開発・観光地経営・観光人材育成などに従事。2016年、山梨大学の観光政策科学特別コース新設を機に現職。日本国際観光学会ワーケーション研究部会部会長、観光庁「新たな旅のスタイル検討委員会」委員も務める。

パネリスト



きりの こういち
桐野 耕一

NPO 法人

長崎コンプラドール理事長

2006年『長崎さるく博'06』市民プロデューサー。この他、長崎市景観まちづくり連絡協議会会長、長崎居留地歴史まちづくり協議会会長、長崎居留地まつり実行委員会会長、一般社団法人日本まちあるき協会代表理事、一般社団法人長崎ベイデザインセンター理事、長崎居留地男声合唱団団長も務める。

パネリスト



つづく じゅんや
都竹 淳也

岐阜県飛騨市長

1967年岐阜県飛騨市古川町生まれ。1989年筑波大学社会学類卒業後、岐阜県庁に入庁。自治体国際化協会シンガポール事務所所長補佐、岐阜県知事秘書、総合企画部総合政策課課長補佐、健康福祉部障がい児者医療推進室長等を歴任し、2015年12月岐阜県庁退職。2016年3月飛騨市長に就任。現在2期目。全国市長会理事、社会文教委員会副委員長。日本の30年先を行く人口減少先進地において「元気で、あんな、誇りの持てるふるさと飛騨市」を掲げ、みんなが楽しく心豊かに暮らせるまちの実現に向け、日々取り組んでいる。

パネリスト



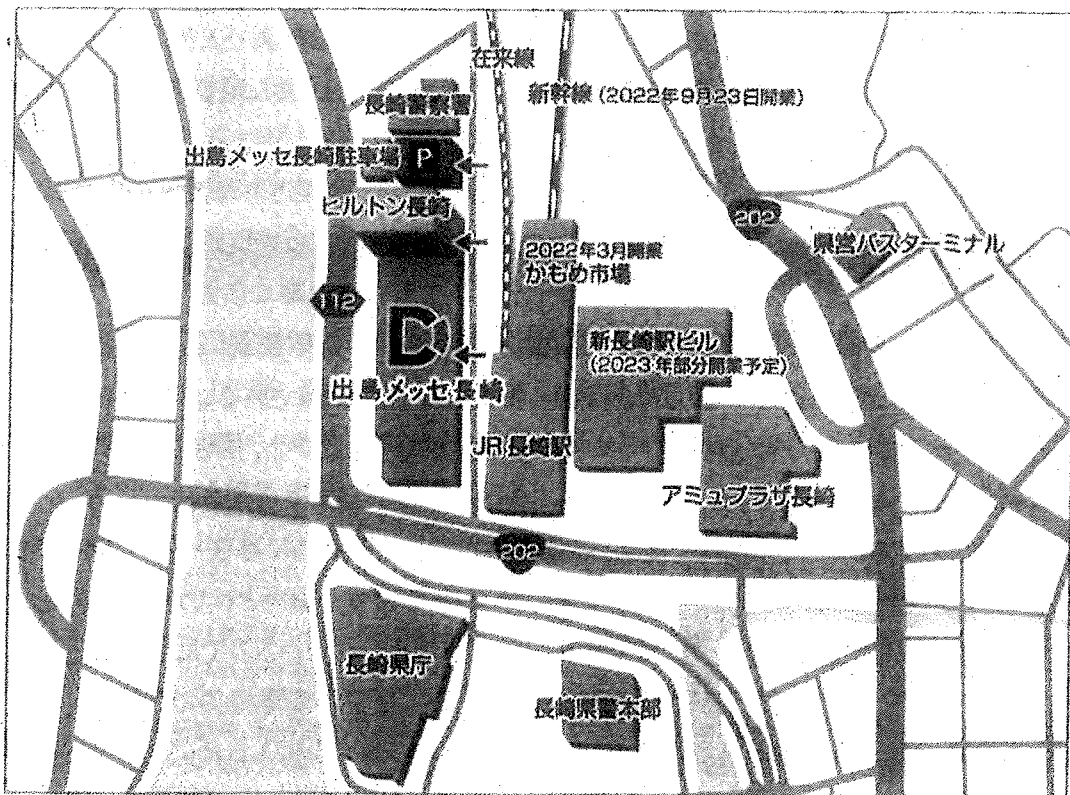
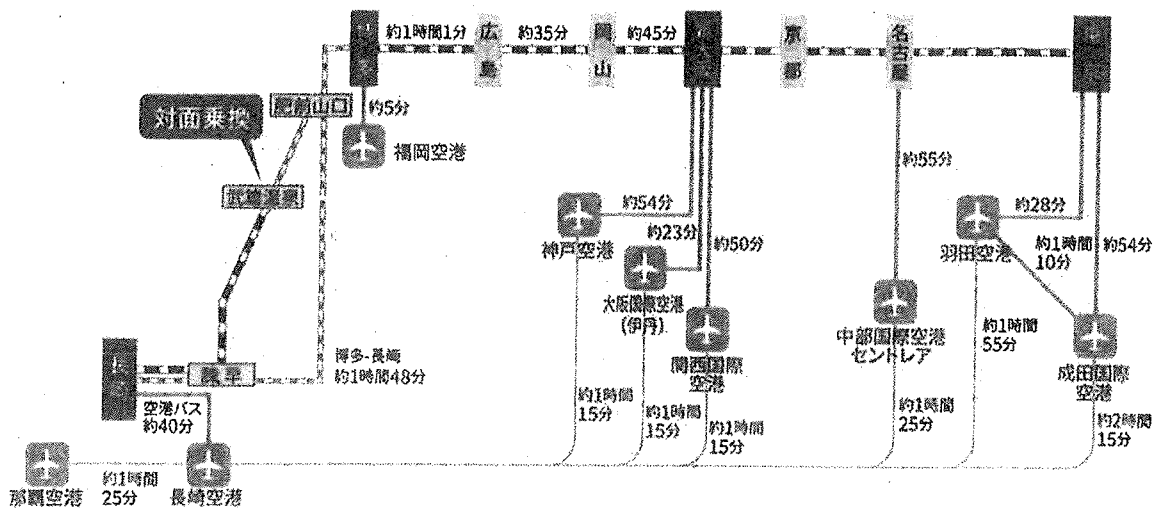
ふじわら やすゆき
藤原 保幸

兵庫県伊丹市長

1954年兵庫県伊丹市生まれ。1977年東京大学工学部卒業、建設省（現国土交通省）入省。1994年兵庫県都市住宅部住宅建設課長として阪神・淡路大震災の復興を担当。2000年国土交通省住宅局住環境整備室長。2002年伊丹市助役、2005年伊丹市長に就任し、現在5期目。全国民間空港関係市町村協議会会長、近畿市長会会長。2020年、日本酒をテーマとしたストーリー『伊丹諸白』と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷』が日本遺産に認定され、全国に向けて「清酒発祥の地 伊丹」のPRに努めている。

会場アクセス

■新幹線や飛行機でお越しの場合



J R 長崎駅西口を出てすぐが会場になります。

■乗用車をご利用の場合

出島メッセ長崎に有料駐車場はございますが、本大会の参加者専用の駐車エリアはございません。できる限り、公共交通機関でのご来場をお願いします。

視察等報告書

整理番号

6

会 派 名	公明党	報告者氏名	手島 良市
日 時	令和4年10月12日（水）～10月14日（金）		
事 項	第84回 全国都市問題会議参加		
場 所	長崎県長崎市：出島メッセ長崎		
参加者氏名	内田 彰・手島 良市・田部井 美晴		
(目的・理由・内容) 別紙のとおり			
(成果・所感) 別紙のとおり			

※（目的・理由・内容）及び（成果・所感）は別途報告様式に替えることができる。
なお、（成果・所感）は、参加者全員が記入する。

視察研修

会派・氏名：市議会公明党 手島良市

視察年月日：令和4年10月12日(水)～10月14日(金)

令和4年10月13日(木)長崎県長崎市

「第84回 全国都市問題会議」

テーマ『個性を生かして「選ばれる」まちづくり』

～何度も訪れたい場所になるために～

この日の午前中は、開会式・基調講演・主報告が行われました。

開会式において、全国市長会長の立谷秀清相馬市長より開会の挨拶があり、その後開催市長崎市長の田上富久市長より挨拶がありました。次に、来賓の大石賢吾長崎県知事よりの祝辞を代読して頂きました。

次に、基調講演を「民間主導の地域創生の重要性」と題して、高田旭人株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役社長兼 CEO より講演がありました。

1.ジャパネットと地域創生

2.行政と民間の役割の違いについて

3.長崎スタジアムシティプロジェクトについて

- ①荷物の持ち込みを禁止にし、ロッカールームをたくさん配置する
- ②試合後の出庫時間に応じて、駐車料金を変える
- ③スタジアム・アリーナを活用し、賃貸面積が少なくても快適なオフィスを実現する
- ④年間シート購入者には、高速 Wi-Fi を提供する
- ⑤商業施設の使用ターゲットを昼夜で変えて、稼働率を上げる
- ⑥スタジアム非稼働日の演出を工夫する
- ⑦スタジアムの VIP ルームは、試合がない日はスタジアムが臨めるホテルとして活用
- ⑧美味しいビールをつくることで車の交通量を減らし、渋滞緩和を狙う
- ⑨試合前後にスタジアムで楽しめるサッカー・バスケットの特集番組をつくり、スタジアム内で放送する

⑩語学とスポーツを両方同時に学べるスクールを開設する

⑪長崎大学大学院を誘致し、オフィスへ入居する企業との交流を促進する

4.さいごに・行政に期待すること

行政だからできること、民間だからできること、今こそ官民そしてそこに住む地域住民の方々と連携し、理想の地域創生を実現していく。

次に、主報告として、田上富久長崎市長より「長崎市の魅力あるまちづくり」について、報告がありました。

1. 長崎市の交流の歴史

「港あり 異国の船をここに招きて 自由なる町をひらきぬ 歴史と詩情のまち長崎 世界のナガサキ・・・」この言葉は、長崎学の創始者として名高い古賀十二郎先生の言葉で、長崎の特別な歴史が港から始まった事が示される。

長崎のまちは今、「昭和の観光都市」から変化を遂げ、多様な目的で訪れる訪問客や、事業者、市民が、交流によって得られる成果をともに享受できる調和のとれた「選ばれる 21 世紀の交流都市」への進化をめざし、交流の幅を広げようとしている。

2.時代の変革期

3.わがまちの価値とは？

(1)価値を見つける

- ・「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産の1つである端島炭坑(軍艦島)

- ・長崎市恐竜博物館(2021 年 10 月開業)

(2)価値に気づく

- ・「長崎さるく」: 全国のまち歩き観光の先駆け
「さるく」とは「ぶらぶら歩く」という方言

(3)価値を磨く

- ・景観専門監制度の導入

- ・まちぶらプロジェクト(今年で 10 年目)

(4)価値を生み出す

- ・長崎スタジアムシティプロジェクト

- ・長崎大学が進める BSL(バイオセーフティレベル)ー4

- ・さかのうえん: 斜面地の老朽空き家除去後の跡地を、農園として活用

4.おわりに

価値に気づくために、交流が欠かせない。

そのまちに根づき、暮らす「土の人」とそのまちを訪れる「風の人」が交流することにより、価値が見つかり、磨かれ、まちの価値が創られていく。

午後からは、一般報告が行われ、最初に田中輝美島根県立大学地域政策学部准教授より「何度も訪れたくなる場所 ～都市の新たな魅力と関係人口～」と題して、報告がありました。

- 1.若い世代と関係人口
- 2.観光以上、定住未満
- 3.「選ばれる」ための新しいインフラ

次に、ビジョンを活かしたまちづくり～「選ばれる山形市」を目指して～と題し、佐藤孝弘山形市長から報告がありました。

1.はじめに

山形市は、最上義光 57 万石の城下町として発展し、江戸時代には紅花商人のまちとして、また今では、蔵王温泉や樹氷・スキー場、さくらんぼなどのフルーツ、花笠まつり・芋煮会フェスティバルなど有名です。

2.2大ビジョンー「選ばれるまち」となるための基本的な考え方

- ・健康医療先進都市
- ・文化創造都市

3.「歩くこと」をベースにした健康で暮らしやすいまちづくり

4.「公共交通の充実」による徒歩の補完

5.文化芸術活動を通じて持続的発展を目指す

6.むすびに

将来ビジョンと結びつけた各種政策を展開して、市民や企業が連動して同時多発的にさまざまな取り組みが進むという現象が起きている。引き続き、2 大ビジョンに基づき、都市ブランド力と持続可能なまちづくりを目指す。

本日最後の一般報告は、一般社団法人地域力創造デザインセンターの高尾忠志代表理事の「交流の産業化」を支える景観まちづくり～長崎市景観専門監の取り組み～と題して、報告して頂きました。

1.長崎市なまちづくり戦略

2.長崎市景観専門監の導入

景観専門監に与えられたミッションは？

①長崎市が行う公共事業のデザインの指導と管理

②長崎市職員の育成

3.時代が求める価値とは

4.価値創造に向けたデザインマネジメント

5.人材こそ未来

6.さいごに

まちづくりを行うのは人であり、特に自治体職員はそのハブを担う重要な存在である。

この日の最後には、長崎女子高等学校の龍踊りの皆さんの演技で終了しました。大満足な演技に、アンコールがおさまりませんでした。

※龍踊りは、日本三大祭の一つとして全国的に有名な長崎諏訪神社のくんに奉納される勇壮な郷土芸能です。長崎の龍踊りは、もともと中国から移入されたもので、享保年間(約250年前)既に諏訪神社のお宮日に参加した記録があるようです。龍踊りの踊り方は、唐人服装をした「玉使い」が一人、「龍衆」が十人で玉使い、玉隠し、胴くぐりからなっており、ドラ、タイコ、龍声ラッパ等の独特な拍子に合わせて長さ20メートルに渉る龍がさながら生物のように踊るさまは、実に壮観です。

令和4年10月14日(金)長崎県長崎市

「第84回 全国都市問題会議」

全国都市問題会議の2日目は、パネルディスカッションが行われました。コーディネーターは、東京都立大学法学部教授の大杉寛氏で、ご本人の寄稿文は『「選ばれる」まちづくりに向けた都市自治体のアプローチ』と題して、

1.「選ばれる」まちづくりの多様なアプローチ

- A.「観光立地型」アプローチ
- B.「観光政策型」アプローチ
- C.「プラスワン拠点型」アプローチ
- D.「移住・定住型」アプローチ
- E.「価値実現型」アプローチ

2.「選び続けられる」まちづくりへのヒント

以上のような題名で説明をされています。

次に、パネリスト5人の寄稿文等を掲載したいと思います。

初めに、ゆとり研究所の野口智子所長は、「人が人を磨き、輝く人が人を呼ぶ～「雲仙人プロジェクト」の試み～」と題し、以下の表題でお話を頂きました。

- 1.地域おこしを頑張る人は既にいる
- 2.でも、知っているようで知らない
- 3.「雲仙人(くもせんになん)」ネットワークを立ち上げ
- 4.毎月、ゆる～い楽しいサロンを開催
- 5.人と人が出会うと、新しいことが起きる
- 6.理屈をこねない地域おこしもある
- 7.オンラインでもつながりは育つ
- 8.あの人はどうしているかしら、の関係を

次に、山梨大学生命環境学部地域社会システム学科の田中敦教授からは、「ワーケーションの意味の拡張と変異」と題して、お話しがありました。

- 1.ワーケーションの発祥と国内での知名度の高まり
- 2.日本型ワーケーションの出現と分類

3.日本型ワーケーションの拡張と変異

- (1)盛り上がりを欠く企業側の制度導入の機運
 - (2)観光庁のワーケーションの目的、射程の変化
 - (3)地域における多様で複合的な推進施策と関連する複数の省庁や多様な施策
- ### 4.まとめにかえて

次に、人は人に会いに行く！～「まち歩き」で見つけた“まちのつくり方”と題して、NPO 法人長崎コンプラドールの桐野耕一理事長より、熱いお話がありました。

- 1.長崎さるく博の開催
- 2.心の変化
- 3.まち歩きガイドの心得
- 4.何度も訪れたい場所になるために
- (1)長崎コンプラドール

「長崎さるく博」の立ち上げや推進に関わった市民プロデューサーが中心

- (2)まちぶらプロジェクト
- 5.最後に

次に、都竹淳也飛騨市長より「人口減少先進地の挑戦～ファンと共に取り組むまちづくり～」と題してのお話がありました。

- 1.はじめに
- 2.飛騨市ファンクラブの仕組みと活動
- 3.会員獲得の努力と活動の拡大
- 4.ファンクラブから生まれた「関係人口」
- 5.関係案内所「ヒダスケ！」の活動
- 6.関係人口の理論とメカニズム

最後に、「清酒発祥の地・伊丹～酒と文化が薫るまち～」と題し、藤原保幸伊丹市長よりお話がありました。

- 1.はじめに
- 2.日本遺産認定
- 3.市立伊丹ミュージアム開館
- 4.にぎわい創出・何度も訪れたいまち

以上のような内容で、パネルディスカッションは終了しました。二日間、大変貴重なお話しが聞けて良かったです。本市においても、お金をかけなくても出来ることなのか、しっかり検証していけないものかなど、考えさせられる内容が盛りだくさんの都市問題会議でした。長崎から始まったまち歩きは、全国 300 ヶ所以上で行われているとの事です。本市でも、我がまち自慢を探す良いキッカケになるのではないのでしょうか。

会派・氏名：市議会公明党 内田 彰

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、3年ぶりの開催となった「全国都市問題会議」でしたが現在、日本全国のほぼ全ての市町村では、出生率の低下を要因とした人口減少と高齢化に因る地域経済の衰退など深刻な課題に直面しているが、本研修を通じて少ない若年層の人達を各自治体が奪い合うゼロサムゲーム的な政策を立案するのでは無く、もう一度地域の魅力を再発見し、それを基に関連人口を少しでも増やし、地域の活性化を図る施策を講じてゆくべきであると感じた。

会派・氏名：市議会公明党 田部井 美晴

個性を活かして「選ばれる」まちづくり、何度も訪れたい場所になるためにがテーマです。人が人を磨き輝く人が人を呼ぶ、人は日々変化します。人と人が、いい出会い方をするともっといい変化が起きます。そういう変化をしていく人がたくさんいる町こそが魅力的だと思います。私も共感するところがあり、私達の市でも参考になる事がたくさんありました。あの人どうしているのかしら「雲仙人の会」女性がとても輝いていてとても好感をもちました。ついついまた会いに行きたくなる、そんな人達が増えていく事が大事なのではと思います。おかえり、ただいま、そう言いあえる様なふるさとになれば最高です。